

理学療法士  
のための

# 児童生徒等の 運動器の健康に関する 教育セミナー2023

「認定スクールトレーナー」の育成を展望して

## 公益財団法人 運動器の健康・日本協会 セミナー

学校健診における運動器検診の本格的導入（2016年4月）以降、学校保健現場では、その質の向上とともに、健診後の事後措置及び継続的な運動器疾患・障害の予防教育の充実強化への努力がなされています。加えて、新型コロナウイルス（COVID-19）の拡大に伴う日常の身体活動の低下により、児童生徒等の運動器の健康に少なからぬ負の影響がもたらされ、これまで以上に持続的で有効な学校現場への対応が求められています。

そこで、将来的には、全国の学校（幼稚園：1万園、認定こども園：約6000園、小学校：約2万校、中学校：約1万校、義務教育学校：約100校、中等教育学校：約50校、高等学校：約5千校、特別支援学校：約1千校 / 児童生徒等数：約1,400万人）に、運動器の健康・日本協会が、長年検討してきた「認定スクールトレーナー」が全国の学校に配置され、国の進めている「チーム学校」の一員や「コミュニティスクール」（学校運営協議会制度）の趣旨に即した体制を構築して、児童生徒等の運動器の健康を一層推進し、日本の将来を担う子どもたちの心身の健全育成を図ることを展望して、昨年引き続き、本教育セミナーを企画しました。

【日時】2023年11月18日（土）13:30~17:15 【会場】オンライン（Zoom ウェビナー使用）※事後視聴なし  
【参加費】無料 【定員】1000名 【参加資格】理学療法士を対象とする 【申し込み】事前登録必要  
【事前登録方法】所定の申し込みによって事前登録を必要とする。



運動器の健康・日本協会 理事長

松本 守推



日本理学療法士協会 会長

斉藤 秀之

主催：公益財団法人運動器の健康・日本協会

協力：公益社団法人日本理学療法士協

# 登壇者プロフィール&講義内容



吉井 智晴 (よしい ちはる)

東京医療学院大学保健医療学部 教授、公益社団法人日本理学療法士協会 副会長、運動器の健康・日本協会 / 業務執行理事

専門分野: 地域理学療法学、子どもから高齢者、障害の有無にかかわらずそれぞれのストレングを生かし、地域で生活ができることを目指している。



内尾 祐司 (うちお ゆうじ)

整形外科医、島根大学医学部整形外科学教授、運動器の健康・日本協会 / 理事

専門分野: スポーツ整形外科。とくにスポーツ外傷・障害における膝関節外科を専門とする。

**講義タイトル: 「学校健診における運動器検診の現状と課題」**

講義内容: 平成 28/2016 年から学校における健康診断 (学校健診) では運動器検査が必須とされ運動器疾患・障害のスクリーニング体制はできたものの、多くの課題を残している。本講演では、児童生徒等における運動器の健康を育むための方策について考察する。



衛藤 隆 (えとう たかし)

東京大学名誉教授、(公財) 日本学校保健会 常務理事、(社福) 恩賜財団母子愛育会 日本子ども家庭総合研究所 名誉所長、運動器の健康・日本協会 / 評議員

専門分野: 学校保健学 (健康診断、保健管理他)、母子保健学 (母子感染他)、健康教育学 (セーフティプロモーション、ヘルスプロモーション他)、小児科学 (小児肝臓病学他)

**講義名: 「現代の児童生徒等の学校保健上の課題」**

講演内容: 学校保健の成立の歴史について説明後、その領域構造、関係する職種などを解説した上で、保健教育と保健管理の概要、児童生徒の発育・発達の状態、健康状態を概説。その上で現代の児童生徒等の心身の健康上の課題について言及する。



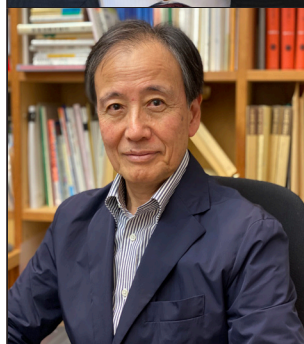
高橋 敏明 (たかはし としあき)

愛媛大学社会共創学部・スポーツ健康科学講座教授、整形外科医、運動器の健康・日本協会 / 学校保健委員会委員長

専門分野: スポーツ医学及び整形外科。地域住民の健康づくりとして、運動器検診活動を実施している。

**講義名: 「児童生徒等の骨折の実態」**

講演内容: 同じ種目のスポーツをし過ぎるための疲労骨折や骨軟骨障害が増加する一方、屋内でのゲームに時間を費やし運動不足となり、軽微のケガにより骨折が多発している。それぞれの外傷の特徴とその対応について説明する。



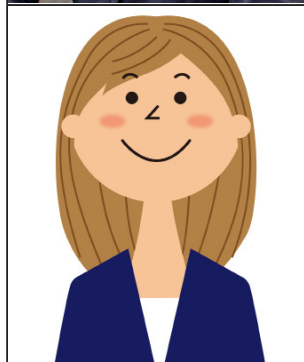
山中 龍宏 (やまなか たつひろ)

緑園こどもクリニック院長 (横浜市)、小児科医、運動器の健康・日本協会 / 学校保健委員会委員、NPO 法人 Safe Kids Japan 理事長

専門分野: 小児科学、小児保健学、傷害制御学。とくに子どもの傷害予防に取り組む。

**講義タイトル: 「学校管理下の児童生徒等の事故の現状と予防」**

講義内容: 日本スポーツ振興センターの災害共済給付のデータでは、年間に 70 万件以上のケガが発生している。最近では人工知能を使って、このビッグデータの分析が可能になった。この分析結果をどのようにして予防や指導に結びつけるかについて紹介する。



寶珠山 菜津 (ほうしゅやま なつ)

東京都中野区立南中野中学校 養護教諭

専門分野: 学校保健

**講義タイトル: 「保健室で聞く児童生徒等の運動器の健康に関する悩み」**

講義内容: 保健室に来室する中学生の実際のけがの症例を基に、けがが発生する背景や運動器の健康状態を分析しながら、基本的なストレッチングの重要性や適切な運動習慣、定期健康診断の運動器検診の重要性について紹介する。





**望月 浩一郎** (もちづき こういちろう)

パークス法律事務所、弁護士、運動器の日本協会 / 監事、日本スポーツ法学会理事、日本スポーツ少年団常任委員

専門分野: スポーツ事故の予防と補償問題、「暴力・暴言・ハラスメント」に頼らないスポーツ指導、アンチ・ドーピング問題、スポーツ団体のガバナンスの構築・コンプライアンス問題など。

**講義タイトル: 学校での児童生徒等の運動器外傷・障害の法律問題**

講義内容: 運動器健診の法律上の位置付けと目的を説明した上で、子どもがスポーツをする頻度は必ずしも減少しておらず、運動器健診の重要性も増していること、これまでのスポーツ外傷・障害予防の取り組み例を紹介し、今後の課題をします。



**松井 知之** (まつい ともゆき)

洛和会京都スポーツ医科学研究所主席課長、運動器・スポーツ専門理学療法士、認定 NPO 法人京都運動器障害予防研究会 理事

専門分野: 運動器およびスポーツリハビリテーション。特に投球障害のリハビリテーションやバイオメカニクスを専門とする。

**講義タイトル: 「認定スクールトレーナー」モデル事業の好事例 京都**

講演内容: 医師、理学療法士、教育委員会、学校長などと連携し、児童の運動器の健康を守る活動を行っている。理学療法士による小学校での特別授業、中学校での全生徒向けへの講演、運動部へのサポートなどを紹介する。



**川本 晃平** (かわもと こうへい)

島根大学医学部附属病院リハビリテーション部、理学療法士、日本理学療法士協会学校保健・特別支援教育理学療法部会 部会員、島根県アスレティックトレーナー協議会 会長

専門分野: スポーツ理学療法, 予防理学療法、とくに成長期のスポーツ外傷・障害予防を専門とする。

**講義タイトル: 「認定スクールトレーナー」モデル事業の好事例 島根県隠岐の島町、大田市、雲南市**

講義内容: 平成 24 年度より学校運動器検診を通じて医師と理学療法士が児童・生徒に対してコンディショニング指導を行う取り組みを開始した。本講義ではこれまでの取り組みの成果や今後の展望について紹介する。



**中山 恭秀** (なかやま やすひで)

東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座 准教授・附属病院技師長、理学療法士、広島大学医学部 客員教授、日本基礎理学療法学会 理事

専門分野: 理学療法。主に姿勢調節と制御の分析並びに歩行解析をもとにした治療と転倒予防指導。

**講義タイトル: 「認定スクールトレーナー」モデル事業の好事例 東京都港区**

講義内容: 2023 年、東京慈恵会医科大学は港区・港区教育委員会と包括的連携協力を図る基本協定を結んでおります。その取り組みの一環として港区内の小中学校におけるスクールトレーナー制度導入に向けた取り組みを開始しております。この取り組みについてご紹介いたします。



**武藤 芳照** (むとう よしてる)

東京大学名誉教授、運動器の健康・日本協会 / 業務執行理事、東京健康リハビリテーション総合研究所・所長

専門分野: スポーツ医学、身体教育学

**講義タイトル: 「認定スクールトレーナー事業の概要」**

講義内容: 本協会が構築を進めている「認定スクールトレーナー制度」の社会背景と経緯、目的から、その制度の仕組み、2023 年度モデル事業の概要、その内容、今後の計画と 2024 年度の講習会等の予定、認定者の活動の方法と内容等について概説する。



**大工谷 新一** (だいくや しんいち)

北陸大学医療保健学部理学療法学科教授, 理学療法士、日本理学療法士協会副会長, 運動器の健康・日本協会 理事

専門分野: スポーツ医科学、とくにスポーツ外傷・障害の予防を専門とする。

開始	終了	時間	プログラム	登壇者
13:20	13:30	10分	開催前の連絡事項	吉井 智晴 当協会 理事、同・成長期のスポーツ外傷予防啓発委員会 担当理事（東京医療学院大学教授、日本理学療法士協会 副会長）
13:30	13:35	5分	開会の挨拶	・松本 守雄 当協会 理事長（慶應義塾大学病院 病院長） ・斉藤 秀之（日本理学療法士協会 会長）
<b>【第1部】基調講演</b>				
13:35	14:05	30分	(1) 学校健診における運動器検診の現状と課題	内尾 祐司 当協会 理事、同・学校保健委員会 担当理事（島根大学医学部整形外科学 教授）
14:05	14:35	30分	(2) 現状児童生徒等の学校保健上の課題	衛藤 隆 当協会 評議員（東京大学 名誉教授 健康教育学・小児科学、元中央教育審議会委員）
<b>休憩5分</b>				
<b>【第2部】講義</b>				
14:40	15:00	20分	(3) 児童生徒等の骨折の実態	高橋 敏明 当協会 学校保健委員会 委員長（愛媛大学社会共創学部 スポーツ健康科学講座 教授）
15:00	15:20	20分	(4) 学校で起きる児童生徒等の事故の現状と予防	山中 龍宏 当協会学校保健委員会 委員（緑園こどもクリニック 院長 / 横浜市）
15:20	15:40	20分	(5) 保健室で聞く児童生徒等の運動器の健康に関する悩み	寶珠山 菜津（東京都中野区立南中野中学校 養護教諭）
<b>休憩5分</b>				
15:45	16:05	20分	(6) 学校での児童生徒等の運動器外傷・障害の法律問題	望月 浩一郎 当協会 監事（パークス法律事務所 弁護士）
16:05	16:15	10分	「認定スクールトレーナー」モデル事業の好事例 1・京都市	松井 知之（洛和会スポーツ医科学研究所 / 丸太町リハビリテーションクリニック 理学療法士）
16:15	16:25	10分	「認定スクールトレーナー」モデル事業の好事例 2・島根県隠岐の島町、大田市、雲南市	川本 晃平（島根大学医学部附属病院リハビリテーション部 理学療法士）
16:25	16:35	10分	「認定スクールトレーナー」モデル事業の好事例 3・東京都港区	中山 恭秀（東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座准教授 / 同附属病院技師長）
16:35	16:55	20分	(10) 認定スクールトレーナー事業の概要	武藤 芳照 当協会 業務執行理事（東京大学名誉教授）
<b>休憩5分</b>				
<b>【第3部】総合討論（質疑応答・意見交換）</b>				
17:00	17:20	20分	質疑応答 = 講師全員に対して順番に行います	第1部の質問時 座長：内尾 祐司 第2部の質問時 座長：高橋 敏明
17:20	17:25	5分	閉会の挨拶	大工谷 新一 当協会 理事、同・学校保健委員会 担当理事（北陸大学医療保健学部教授）